

# 第50回広瀬川創生プラン策定推進協議会 議事録

■ 日 時： 令和7年10月31日（金曜日）

■ 場 所： 書面開催

■ 出席委員（決議書提出）：

小祝 慶紀 会長	小田 隆史 会長代理	一井 利光 委員
岩崎 雄一郎 委員	大場 秀行 委員	今野 義則 委員
西城 あや 委員	笹村 欣司 委員	佐藤 奈緒子 委員
多田 千佳 委員	田名部 一朗 委員	豊嶋 純一 委員
中嶋 紀世生 委員	谷田貝 泰子 委員	山本 琴枝 委員

■ 事務局： 建設局百年の杜推進部百年の杜推進課

■ 内容：

<議事>

- (1) 第49回協議会振り返りと今後の方向性について
- (2) 令和7年度重点事業の認定について

■ 要旨：

- 第49回協議会において「重点事業の認定手順」について了承を得ているが、運用面で様々な意見をいただいている。いただいた意見について整理・検討したうえで、今後の方向性を提案し了承された。
- 令和7年度重点事業の認定について、提出した4事業すべて了承された。

■ 議事詳細：

(1) 第49回協議会振り返りと今後の方向性について

決議結果 可決（承認 15名 否認 0名）

意見 なし

(2) 令和7年度重点事業の認定について

決議結果 可決（承認 15名 否認 0名）

意見 なし

## その他 意見

### ○岩崎委員

今回決議については、重点事業認定の手順変更に時間を要したという特別な事情があったことから、早期決議を図るため「書面開催」を提案したもの。本来、当該年度の事業認定は事業開始前になされるべきものであることから、この点に十分ご留意いただき次年度の計画を立てていただきたい。

### ○事務局

次年度以降の重点事業の認定については、「議事（1）第49回協議会振り返りと今後の方針性について」でお示したとおり、毎年度3月に開催予定の協議会の場で、次年度の4月1日から翌年3月31日までに実施する事業を対象として認定していく予定としている。

### ○山本委員

今後の活動については、クマ対策も盛り込む必要があると考える。

### ○事務局

今後の広瀬川に関する取組みにおいては、クマの出没状況や取組み内容の性質等を考慮したうえで、必要に応じ、クマ対策の総括でもある宮城県や本市環境共生課、各区区民生活課などの関係機関と連携しながら、クマ対策や取組事業の実施の可否について検討するよう事業者に申し入れていくこととする。

なお、11月8日（土）に開催した「第38回広瀬川1万人プロジェクト河川・海岸一斉清掃」では、当初実施予定の18箇所にうち、クマの出没情報が多い作並会場及び野川橋会場を中止とし、16会場で活動を実施している。実施した16会場では、忌避剤の設置や単独行動の禁止、河川敷には近づかないなどのクマ対策を実施したほか、クマの出没頻度が高い早朝から午後に開催時間を変更するなど、実行委員会と会場担当で協議を重ねたうえで各会場の状況に応じたクマ対策を実施している。

### ○小田会長代理

議題2の重点事業候補のうち、②の広瀬川大橋 水辺の青空学校が計画する、「新規活動団体への手引き書の作成」は、関連活動を他団体が企画実施する際に大いに参考になり、横展開に資するものと期待される。十分な支援が行われることを望む。

### ○事務局

手引き書の作成と横展開については、新規活動団体の参入の促進や他団体による関連活動の企画・実施に資するものであり、「広瀬川創生プラン2025-2034」の

推進体制（p37）に示す「新規活動の立上げ」に非常に有効な手段であると認識している。手引き書作成にあたっては、事務局より事業実施にあたり必要となる諸手続きや協議先などの情報について提供するなど、可能な範囲で支援してまいりたいと考えている。

#### ○谷田貝委員

「関山街道の四季フォトコンテスト」の負担金については、今年度実施したコンテストに対して15万円支出するということか。また、支払は事前に概算払いするのか、実施後に請求支払いとするのか。

#### ○事務局

本件は、今年度実施したコンテストに対する支出ではなく、5年間にわたり実施してきた「関山街道の四季フォトコンテスト」の記録としてパンフレットを作成し、広報活動を行う取組みに対して負担金を支出するものである。負担金については、活動実施後に収支報告書を提出いただいた上で支出する予定としている。

以上

この議事録について、会議の内容に相違ないことを認めます。

令和　　年　　月　　日

議事録署名人

廣瀬川創生プラン策定推進協議会 会長 \_\_\_\_\_ 印

委員 \_\_\_\_\_ 印